はじめに　009

第一章　血で血を洗う領土問題――私がみた現代世界の国境紛争　019

一　中ソ国境紛争

歴史から学ぶ意味／尖閣の緊張は初めてではない／対立を煽るのは「政治的野心」と「メディア」／有利な条件を自ら覆す日本

二　イラン・イラク戦争

ミサイル着弾の恐怖／イラン・イラク戦争の原因

三　独仏領土問題

ドイツ人の疑問／翻弄されたアルザス・ロレーヌ地方／ドイツの選択

第二章　尖閣諸島をめぐる日中の駆け引き――戦後の尖閣諸島史　057

一　尖閣諸島の歴史的背景

尖閣事件／尖閣の歴史をめぐるすれ違い／尖閣の編入をめぐるすれ違い／第二次大戦後の認識のすれ違い

二　国交回復と日中平和友好条約

国交回復時の合意と一九七八年の処理／暗黙の合意／何度も確認されている尖閣問題の「棚上げ」／日中漁業協定の動き／中国の強硬路線の背景／二〇一〇年は歴史的転換点／尖閣問題の所在①「係争地であるという認識の排除」／尖閣問題の所在②「棚上げ合意を中国の一方的主張としたこと」／実は中国軍部も「棚上げの廃止」を歓迎／中国も一枚岩ではない

第三章　北方領土と米ロの思惑——大国の意図に踊る日本

一　ソ連参戦

すべてはポツダム宣言にある／米国がソ連参戦を求めた理由／参戦の見返りは樺太と千島列島／サンフランシスコ平和条約での扱い／大国に利用される北方領土問題／変更された北方領土の解釈

二　日ソ国交回復交渉と領土

日ソ国交回復交渉の変遷／日ソ国交回復の足枷／日ソ交渉の裏の「米国の動き」／日ソ共同声明後の状況

三　米ソの雪解けと領土

米国によるゴルバチョフ、エリツィン支援／米ソのためのサイフ／崩れなかった日ロの立場／硬化するロシア／北方領土の教訓と尖閣／米国対中戦略と日本／尖閣での米国の態度／日米同盟強化へ

日米同盟は役に立つのか——米国にとっての日本領土

北方領土に在日米軍は出ない／竹島をめぐる綱引き／竹島の歴史をめぐる日韓の隔たり／尖閣諸島は日米安保の対象だが／尖閣諸島に米軍は出るか／島嶼を守るのは自衛隊／軍事面から見る尖閣防衛／米国はどこまで日本防衛の義務を負っているか

第五章 領土問題の平和的解決――武力を使わせない知恵 165
平和的解決を求める必要性／平和的手段の類型／武力行使の制限と大国の思惑／大国の責任／中国の武力行使を抑えるには／交渉・審査・仲介・調停…／国際司法裁判所／国際司法裁判所の判決例／国際司法裁判所か、交渉か／領土問題の棚上げ方式の利点／説明不足の日本政府

第六章 感情論を超えた国家戦略とは――よりよい選択のために 197
国家戦略に、領土問題をどう位置付けるか／領土保持より国交回復優先／共通の利益／領土問題の比重を下げる／リアリズムと相互依存／東アジア共同体は難しいか／象徴としての領土問題／中国の経済力／中国の軍事技術／言い分は折り合わない／第三者を入れる／軍事力を使わない共通原則を構築する／一挙解決を目指さない

地図作成＝新井トレス研究所